

先月は寒暖差が大きく、体調を崩された方も多かったのではないのでしょうか。ようやく春らしい暖かな日が続くようになってきました。体調を整えて元気に毎日を過ごしていきたいですね。

今年度も、センターは皆様の活動を応援しサポートさせていただきます! どんなことでもお気軽にご相談ください。新年度の活動予定などもお聞かせくださると嬉しいです。今年度もよろしくお願いいたします。

日光市民活動支援センターからの お知らせ

- 《センター登録団体様へ》

今年度よりセンターの利用方法（会議室申請等）が一部変更になります。詳しくは日光市から郵送のご案内をご覧ください、不明点はスタッフまでお尋ねください。
- 《ロッカーの更新について》

今年度も引き続きロッカーをご利用になる団体様は、更新の手続きをお願いします。新規の申し込みも受け付けています。料金をご持参のうえセンターまでお越しください。
◆使用料：100円/月（※基本、年額1,200円を一括納入となります。）
- 《登録内容変更申請について》

代表者や連絡担当者等、現在の登録内容に変更が発生した場合には、変更の届出が必要となります。申請書は受付カウンターにてお受け取りください。

3月にセンターで開催したゆるカフェイベントを紹介します★

3 / 25

～よりよいコミュニケーションのために～
言葉について考えてみよう

「いつも」「しばらく」「先日」など、日常的に使っている言葉を例に挙げ、それぞれがどのように感じているかを参加者の皆さんと話しました。

例えば、「しばらく」という言葉は、「1カ月」と感じる人もいれば「1年」と感じる人もいて、人によって感覚には大きな幅があることが分かり、面白く感じた反面、こうした感覚の違いが誤解やすれ違いを生むこともあるので、より良いコミュニケーションのために、伝える側・受け取る側それぞれが言葉の使い方を意識することが大切だと思いました。



3 / 27

バーチャル リアリティ
VR (Virtual Reality) を体験してみよう

近年、VR（仮想現実）はエンターテインメントだけでなく、教育、医療、ビジネス、福祉など幅広い分野で活用され、市民活動やボランティアの分野でも、防災教育、福祉支援、地域活性化のツールとして注目されています。

今回は、MetaQuest2という機器を使い、VRの世界を体験しました。違う世界に入り込んだような不思議な感覚に、参加者からは驚きや興奮の声があがっていました!



～にこっと!からのお知らせ～

次号より、にこっと!がリニューアルします☆
全4ページになり、春・夏・秋・冬号のお届けになります。
春号は5月にお届け予定です!!
どうぞお楽しみに😊

センター会議室予約
受付開始日時のお知らせ

R7年7月分 4月1日(火) 午前9時

R7年8月分 5月1日(木) 午前9時

※ 開始日の午前中は来館者のみ受付、電話での受付は正午からとなります。



NPO法人おおきな木 主催

『NPOのためのアイスブレイカー研修会』に参加しました☆

アイスブレイカー(アイスブレイク)とは、グループやチームのコミュニケーションを円滑に進め、パフォーマンスを向上させる為にリラックスした雰囲気を作り出し、話しやすい環境を整える会話やゲームのことで、チームビルディングや会議などでよく活用されています。



グループワークを通して、グループ内の緊張を緩和したり、相手との信頼関係を築くためのコミュニケーション方法について考えたり、効果的なアイスブレイクの技法を実践的に学びました。

ゲームを通して相手との感じ方の違いを理解し、小さな成功体験を積むことで、楽しみながらチームに良い雰囲気を作り出すことができました。講師の長井さんのお話を聞き、普段から大切なのは相手を知ろうとする姿勢と、自分の強みを分析し、それをコミュニケーションに活かすことだと感じました。



日光市(地域振興課) 主催

『日光市協働のまちづくりシンポジウム』に参加しました☆

「子育て支援と家庭教育」をテーマに、前半は一般社団法人発元気プロジェクトウタウ☆カイゾクダンツ! せんちょー。氏による「協働のまちづくりと喜ばせ学」の基調講演が行われました。せんちょーが実際に行った県内の小学校での協働の話を、子供にも分かりやすい言葉を使って話していたり、講演の後には創作ダンスと歌が披露されたりと、子供連れの方でも楽しめる内容でした。

後半は、せんちょーの他、NPO法人だいじょうぶの畠山さん、NPO法人和音の高橋さん、親学習チーム日光の金子さんの3人のパネリストが協働への経緯やメリット、今後の予定や課題等を話されていました。最後には質問コーナーがあり、様々な質問に対するパネリストの方の意見を聞く事が出来ました。



にこっと! なお話



皆さんこんにちは! 吉原です。

またまた、川柳の話になりますが、『ぬぎすててうちが一番よいという』と言う有名な句があります。遠出から帰って我が家で寛いだ心境を詠った岸本水府の代表作の一つと言われています。また、外出から帰りほっとするその一瞬をとらえた句とも言われています。私も病院から退院した方や、施設から帰って来た方たちが、靴下や着物を脱いだ時の心境を詠った素敵な句と思っています。入院や入所者のほとんどの方は、意に反して入院や入所等をしていると言われています。家に帰って来て、寛いだ靴下や着物に着替えた時は、さぞかし嬉しかった事と思います。そういった意味では高齢化が進んでいる現代や、未来の社会を言い当てた先見性の有る句とも言えると思います。皆様もゆめゆめ油断をせずに、お身体をご自愛くださいね。

😊取材希望の団体さんを募集しています😊

あなたの団体の活動をPRしませんか?お気軽にセンターまでご連絡ください!

